

農村景観のこれからを考える

鳥海山・飛島ジオパーク環境保全フォーラム2018inにかほ

9月8日、象潟公会堂で鳥海山・飛島ジオパーク環境保全フォーラム2018 inにかほが開催されました。第3回となる今年のテーマは「農村景観」。里山と農家の暮らしが転換期を迎える今、ジオサイトの一つ「九十九島」を始めとする身近な自然環境の保全について、講師の今森光彦さん（写真家）とパネリストによる活発な意見交換が行われました。



▲鳥海山・飛島ジオパークの魅力を語る今森光彦さん（写真：左上）

健康長寿社会の実現を目指す

第13回いきいき健康まつりinにかほ

9月11日、象潟体育館を会場に第13回いきいき健康まつりinにかほが開催されました。これは、にかほ市老人クラブ連合会が健康づくりを目的に年に1回開催しているもので、ボール送りのほか2種類の競技が行われました。競技で勝利し一喜一憂する姿や、大声で応援する姿が見られ、心身の両面にわたる健康の増進が図られた一日となりました。



▲他のチームには負けないゾ！

豊作の願いを込め

院内小学校・実習田かかし製作授業

9月7日、院内小学校体育館で当校5年生児童によるかかし製作授業が行われました。地元の農家指導のもと、児童たちは不要となったジョウロや衣類を用い自由な発想でかかしを製作し、実習田に豊作を祈りながら個性あふれるかかしを立てました。

児童たちが工夫を凝らした力作のかかしは、稲刈りが終わるまで実習田を見守り続けます。



▲実習田に設置された4体のかかしと児童たち

家内安全、五穀豊穡を祈る

久斯神社例大祭

9月9日、樋ノ口集落に鎮座する久斯神社で例大祭が行われました。市の無形民俗文化財に指定されている「久斯神社シャギリと御神輿渡行列」、当番丁の堺集落から神社までの間を練り歩く姿を一目見ようと沿道にはたくさんの地元の人の姿が見られました。午後からは子どもたちのシャギリが各集落を練り歩き祭典に華を添えていました。



▲神社境内での御神輿渡行列の様子

若手の熱い想いで復活

釜ヶ台番楽・柱絡み

8月31日、釜ヶ台地区で地域住民が見守るなか、柱絡みが行われました。これは、釜ヶ台番楽の神事の一環として新築の棟上げが終わった時に安全を祈って行われるもので、ここ数十年行われていませんでしたが、当地域の若手が釜ヶ台番楽をもっと広めたいという想いから復活しました。餅撒きもあり、楽しそうに拾う子どもたちの笑顔が見られました。



▲迫力ある舞で安全を祈願

郷土の伝統文化を伝える祭典

第9回鳥海山伝承芸能祭

9月2日、小滝地区金峰神社境内のにかは市郷土文化保存伝習館で第9回鳥海山伝承芸能祭が行われました。国指定重要無形民俗文化財の「小滝のチョウクライロ舞」を始め、市内の民俗芸能が一堂に会す貴重な機会に、今年はさらに秋田市の「楽遊会」による雅楽の演奏もあり、会場に訪れた約450人の観客は和の調べと舞に夢中になっていました。



▲会場に乱入し笑いを誘う鳥海山日立舞「ゆらゆら」

平和の誓いを新たに

にかほ市平和祈念戦没者追悼式

8月29日、仁賀保勤労青少年ホームでにかほ市平和祈念戦没者追悼式が開催され、来賓や戦没者の遺族など約100人が参列しました。

式典では、遠藤聡之介さん（仁賀保中3年）による平和への誓いや献花などが行われ、式典の最後にはコールひまわりの皆さんが追悼歌「みたまをたたえて」を捧げた後「水色のワルツ」を披露しました。



▲コールひまわりの皆さんによる平和の歌声

先人の偉業を伝える

白瀬・南極フェア 2018

9月1日、南極公園で白瀬・南極フェア2018が開催され、会場は多くの来場者で賑わいました。

先人・白瀬轟の命日である 9 月 4 日にちなんで、南極探検の偉業を讃えようと、地元ダンスグループなどが多彩なパフォーマンスを披露。また、吹奏楽と市内コーラスグループによる「白瀬賛歌」の合唱など、まさに先人の偉業を伝える 1 日となりました。



▲開南丸の前で演奏する吹奏楽団“アンダンティーノ”の皆さん